

500 SERIES MICROPHONE PREAMPLIFIER 502

500 Series Modular Midas Microphone Preamplifier with Classic XL4 Filters

**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイストロッキングプラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法について

ての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。
9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加え

てアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地点 (アース) が確保されていることを確認して下さい。

12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。



14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用時の運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いただけません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した燭燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本装置は 45°C 以下の温帯気候でご使用ください。

法的放棄

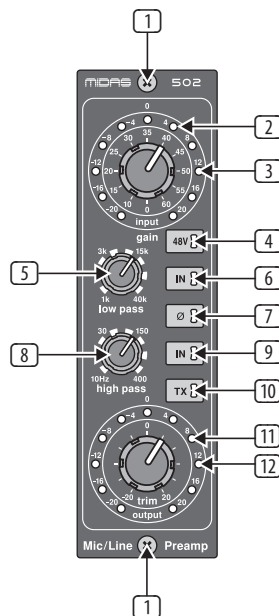
ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas, Klark Teknik, Lab Gruppen, Lake, Tannoy, Turbosound, TC Electronic, TC Helicon, Behringer, Bugera, Oberheim, Auratone, Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2021 無断転用禁止。

限定保証

適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 musictribe.com/warranty にて詳細をご確認ください。

コントロール

JP



1 取付穴 - 502 モジュールは、Midas Legend L6 や L10 などのホスト 500 シリーズラックシャーシまたはボックスに取り付けられ、上下の 2 本のネジを使用して固定されます。

2 ロータリー入力レベルメーター - この高精度の11セグメントピーク読み取りロータリー入力メーターの範囲は、-20 dBu から +20 dBu まで 4 dB ステップです。メーターはポストマイクアップ、プリフィルター信号を読み取り、入力ゲインを正確に設定できるようにします。

3 入力ゲイン制御 - マイク / ライン入力ゲインは、ゲイン設定が 0 (ユニティゲイン)、+10、+15、+20、+25、+30、+35、+40、+45、+ の高精度 12 ポジションロータリースイッチです。50、+55、および +60 dB。スイッチは、どのゲイン設定でも +/- 1 dB 以内の精度です。「0」の位置に設定すると、入力は最大 +24 dBu の入力信号レベルを受信できるため、パッドを必要とせずに非常に高レベルのライン信号を簡単に処理できます。マイクアンプは、Midas Pro シリーズのコンソールなどで使用されているものと同じデザインです。クアッドディスクリット入力トランジスタで強化されています。

4 48V スイッチ - このスイッチを選択すると、502 モジュールは 500 シリーズラック入力コネクタを介して +48 ボルトのファンタム電源をマイクに供給します。スイッチの赤い LED が点灯して、+48V がオンになっていることを示します。注: マイクにファンタム電源が必要であることが確実でない限り、ファンタム電源を選択しないでください。マイクやその他のオーディオデバイスは、ファンタム電源によって損傷する可能性があります。+48V をオンまたはオフに切り替えるときは、スピーカーで DC のゴツンという音が聞こえないように、接続されているアンプをすべてオフまたはミュートにすることをお勧めします。

5 ローパスフィルター制御 - このノブは、ローパスフィルターの周波数を 1 kHz-40 kHz (-3 dB ポイント) の範囲で調整します。40 kHz から始めて、コントロールを反時計回りに徐々に回して、不要な HF ノイズやオーディオを取り除きます。よりヴィンテージなサウンドを作成するのに役立ちます。

6 ローパスフィルターINスイッチ - ローパスコントロールノブの横にある IN スイッチは、ローパスフィルターを信号パスに挿入し、入力ゲインと出力トリムの制御をポストします。スイッチの黄色の LED が点灯して、LP フィルターがアクティブであることを示します。

7 逆相 0 スイッチ - このスイッチを選択すると、信号の位相が 180° 反転します。スイッチの緑色の LED が点灯して、0 リバースがオンになっていることを示します。

コントロール

- 8 ハイパスフィルター制御** - このノブは、ハイパスフィルターの周波数を10 Hz~400 Hz (-3 dB ポイント) の範囲で調整します。10 Hz から始めて、コントロールを時計回りに徐々に回して、不要な低周波数コンテンツを削除します。
- 9 ハイパスフィルターINスイッチ** - ハイパスコントロールノブの横にあるINスイッチは、ハイパスフィルターを信号パスに挿入し、入力ゲイン後および出力トリム前の制御を行います。スイッチの黄色の LED が点灯して、HP フィルターがアクティブであることを示します。
- 10 TX スイッチ** - このスイッチを選択すると、モジュールがバランス Aux 出力 XLR を備えた Midas L6、L10、または互換性のある 500 シリーズラックに取り付けられている場合、ツイン Aux バランス出力が有効になります。これにより、アクティブなマイク/ラインスプリッター機能が提供されます。メイン出力は TX スwitchの影響を受けません。適切なバランス Aux 出力コネクタが装備されていない 500 シリーズラックで使用する場合は、ツイン Aux 出力を選択しないでください。(不明な場合は、モジュールのピン配列を確認してください。) ツイン Aux 出力が有効になると、TX スwitchの緑色の LED が点灯します。
- 11 ロータリー出力レベルメーター** - 高精度の 11 セグメントピーク読み取りロータリー出力メーターの範囲は、-20 dBu から +20 dBu まで 4 dB ステップです。メーターは出力信号レベルを読み取り、出力トリムコントロールを正確に設定できるようにします。
- 12 出力トリム制御** - このロータリー出力トリムポテンショメータは、出力信号レベルを正確に制御します。範囲は +/- 20 dB で、中心は 0 dB です。入力ゲインコントロールと組み合わせて使用すると、合計最大ゲインは +80 dB で、低レベルのリボンマイクなどには十分です。さらに、出力トリムコントロールを使用して色を制御したり、マイクの入力ゲインを上げたりすることができます。過負荷耐性のある Midas マイクアンプを利用するには、出力トリムを下げて、出力レベルが高くなりすぎるのを防ぐことができます。

はじめに

1 502 モジュールは、Midas Legend L6 や L10 などの 500 シリーズラックシャーシまたはボックスに取り付けるように設計されています。L6/L10 は、502 モジュールへの入力接続と出力接続、およびモジュールを実行するための内部電源とファンタム電源を供給します。

2 L6/L10 の電源をオフにした状態で、502 モジュールを慎重にスライドさせて取り付け、背面コネクタが L6/L10 の対応するマルチピンコネクタに正しく収まるようにします。2 本のネジを使用して、502 モジュールを前面の上部レールと下部レールに固定します。

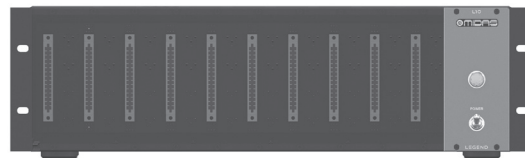
3 L6 または L10 の空白スペースは、Midas L18 ブランクプレートを使用して埋めることができます。これらのプレートは、汚れ、ほこり、その他の物体がユニットに入るのを防ぎます。

4 システムに他のモジュールを挿入します。

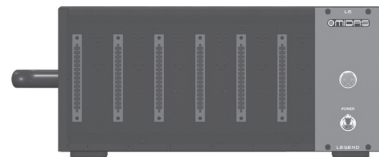
5 マイクやその他のオーディオ機器を L6/L10 の入力と出力に接続します。

6 502 モジュールは、マイクが必要とする場合、+48V のファンタム電源を提供できます。注: マイクにファンタム電源が必要であることが確実でない限り、ファンタム電源を選択しないでください。マイクやその他のオーディオデバイスは、ファンタム電源によって損傷する可能性があります。+48V をオンまたはオフに切り替えるときは、スピーカーで DC のゴツンという音が聞こえないように、接続されているアンプをすべてオフまたはミュートにすることをお勧めします。

7 L6/L10 の電源を入れます。502 モジュールには、内部電源オン/オフミュートリレーが装備されています。電源投入後、電源投入時の衝撃を避けるために、出力が接続されるまでに 2 秒の遅延があります。リレーはまた、パワーダウン中に出力をミュートすることにより、パワーオフの衝撃を防ぎます。ヒント: +48V が必要な場合は、L6/L10 の電源を入れる前に +48V スイッチを選択してください。次に、電源投入時に、リレーのミュートにより、+48V のスイッチオンサンパが聞こえなくなります。



Legend L10500 シリーズラックマウントシャーシ (10 モジュール用)



Legend L6 500 シリーズ 6 モジュール用ラックマウントシャーシ (付属のラックイヤーキットは表示されていません)

技術仕様

コントロール

ファンタム電源	48 V スイッチ
入力ゲイン、マイク / ライン	12 ポジションロータリースイッチ、 0-60 dB ノブ
極性	0/180 度スイッチ
ローパスフィルタ	イン / アウトスイッチ、周波数ノブ
ハイパスフィルタ	イン / アウトスイッチ、周波数ノブ
出力トリム / ラインゲイントリム	+/- 20 dB ノブ
ツイン Aux 出力イネーブル	TX スイッチ

入出力

入力	モノラル、バランスマイクまたはライン
主な出力	モノラル、電子的にバランスが取れている
ツイン Aux 出力	モノラル、電子的にバランスが取れている

システム

ノイズ	
ユニティゲインでのノイズ	-97 dBu (22 Hz-22 kHz)
+60 dB ゲイン、150 オームソースのマイク EIN ノイズ	-127 dBu (22 Hz-22 kHz)
CMRR	
ユニティゲイン、1 kHz	-70 dB (標準)
+60 dB ゲイン、1 kHz	-100 dB (標準)
入力インピーダンス、1 kHz	10 k Ω
周波数応答、ユニティゲイン	20 Hz-40 kHz +/- 0.5 dB

歪み、ユニティゲイン、1 kHz	
0 dBu	<0.005%
+10 dBu	<0.005%
+20 dBu	<0.01%
最大入力レベル、1 kHz	+24 dBu
最大出力レベル、1 kHz	+26 dBu
出力インピーダンス、1 kHz	50 Ω
フィルタ	
ローパス	1 kHz-40 kHz、スロープ = 1 オクターブあたり 12 dB
ハイパス	10 Hz-400 Hz、スロープ = 1 オクターブあたり 12 dB
メータル	
入力メーター	11 セグメント、4 dB ステップで -20 dBu ~ +20 dBu
出力メーター	11 セグメント、4 dB ステップで -20 dBu ~ +20 dBu
電力要件	
電圧	+16 V および -16 V、+48 V (ファンタム電源)
消費電力	100 mA、3.2 W
物理的	
寸法 (H x W x D)	132 x 38 x 174 mm (5.2 x 1.5 x 6.9")
重量	0.6 kg (1.3 ポンド)

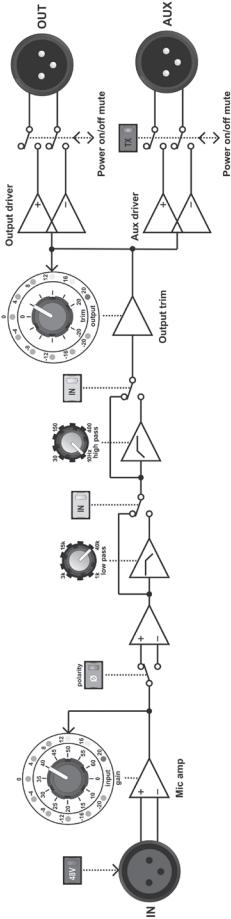
モジュールコネクタのピン配列

ピン番号	説明
1	シャーシ GND
2	出力 + (ホット)
3	補助出力 + (ホット)
4	出力 - (コールド)
5	オーディオ GND
6	該当なし
7	補助出力 - (コールド)
8	入力 - (コールド)
9	該当なし
10	入力 + (ホット)
11	該当なし
12	PSU +16 V
13	PSU GND (0 V)
14	PSU -16 V
15	PSU +48 V ファンタム電源

ノート

L6 および L10 ラックマウントシャーシの XLR 接続は、ピン 1 = オーディオ GND、ピン 2 = + (ホット)、ピン 3 = (コールド) で配線されています。

Block Diagram



その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

1. ヒューズの格納部 /

電圧の選択: ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230 V と 120 V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。

2. 故障: Music Tribe ディーラーがお客様のお近くにならないときは、musictribe.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。

3. 電源接続: 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

